

清水暈吉 しみず うんきち 翻譯家、詩人。明治二十七年舞馬縣生れ（一八九一）。筆名岑清光、清水夏辰。初の詩を作り、詩集『白晝像』（大正十五年五月）二十日発行、主観社）出版。朝日新聞社社員となり、外遊九年とす。

譯書に、A・M・ベイテン著『成功の哲學』（昭和十四年五月五日中央公論社）、キヤプテン・マーヤット作『森の子供達』（昭和十四年十二月二十日朝日新聞社）、G・S・ポーター作『黄色の帝王蛾』（昭和十五年二月一日朝日新聞社）、バーネット作『秘密の園』（昭和十六年一月十日朝日新聞社）、ヴイクトル・バーゲ著『海洋南洋の眞珠』（昭和十八年十一月二十日泰文堂）、イオン・イドリーメ著『濠洲海旅四十等—日本人先驅者の奮闘記録』（昭和十九年二月二十五日興亞出版社）、ジエムズ・カーウツド作『狼犬』（昭和二十一年十一月五日平凡社）『冒険小説北極星文庫』等。

